

令和5年4月22日

保護者 各位

入善町立入善西中学校
校長 松田 勝仁

本年度の重点的な取組（アクションプラン）について

陽春の候 保護者の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、本校では教育活動において生徒に特に身に付けてほしいことを「アクションプラン」と称し、本年度は下記の点について重点を置き、指導していくことを計画しています。年2回、生徒の変容について生徒自身や保護者、教師がそれぞれ評価を行い、その評価結果を基に指導の改善を図り、さらに生徒への指導や援助を行うことにしております。

つきましては、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

なお、評価結果は、各種たよりやホームページで公開いたします。

令和5年度アクションプラン

| アクションプランー1ー | |
|---|--|
| 重点目標 | 主体的・対話的に授業に取り組む態度を身に付ける。 |
| 具体的目標 数値指標 | 授業のまとめや振り返りを基に「分かったこと」や「できるようになったこと」、「疑問に思うこと」等について「自分の言葉で発表したり、伝えたりすることができた」と答えた生徒の割合が80%以上になることを目指す。 |
| 学校で行う具体的な指導や援助 | |
| ① 友達の考えを聞いたり、技能を見合ったりして、友達の考えや技能等に触れ、比較検討する機会を十分に確保する。また、自分の考えや技能等を論理的に説明し、伝え合う活動を適時適切に取り入れる。 | |
| ② 自己の学びを振り返り、次時に向けた課題を発見したり、自分の習熟度を自覚したりする活動や方法を工夫する。 | |
| アクションプランー2ー | |
| 重点目標 | 生徒の自己有用感を高める。 |
| 具体的目標 数値指標 | i-checkにおいて、「学校の授業やクラスの役割等で、自分は先生から期待されている、友達から頼りにされていると感じることが、よくある、ときどきある」と答える生徒の割合が75.0%以上を目指す。 |
| 学校で行う具体的な指導や援助 | |
| ① 学級活動や部活動、学校行事等において、生徒が主体となった企画、運営を行う。 | |
| ② 学級会や代議員会、生徒総会を通して、意見交換を密にし、生徒会執行部、実行委員会、学級それぞれの連携を図り、自治的活動の充実を図る。 | |
| ③ 生徒一人一人が目標をもち、成就感や達成感を味わうことのできるような学校行事や活動の機会を確保する。また、その活動を振り返り、互いに「認め」、「励まし」、「感謝」し合う場の設定をする。 | |

